

_____様

イルミネーション湘南台 2002 報告書

平成 15 年 2 月



イルミネーション湘南台 2002 実行委員会

実行委員長 天笠邦一 / 連絡先：090-9840-0718

副実行委員長 渡邊一男 / 連絡先：090-3532-5010

事務局 沖本亘司 / 連絡先：090-6142-0094

1. 2002 年度活動のまとめ

今回で 3 回目の実施となった「イルミネーション湘南台」だが、1 回目の 2000 年を『立ち上げの年』、2 年目の 2001 年をその内容の『確立の年』と位置付けるのであれば、今年 2002 年度は、その組織の『展開の年』と位置付けられるであろう。

本年度は、昨年度までイルミネーション湘南台とはかかわりの薄かった個人・団体に対して、アプローチを行い、それぞれと共同作業を進めることを重点項目としてきた。これは、イルミネーション湘南台を、その実行委員会内だけでは完結しない、本当の意味で湘南台地域に根ざしたものとするための試みであった。

その結果、各実行委員の努力と、皆様のご協力により、湘南台地域で活躍している種々の団体・多くの個人の方々と協力関係を築くことに成功し、「イルミネーション湘南台」としての新たな形を生み出すことができた。実行組織の拡大・展開という意味では、成果を残すことが出来たと考える。しかし、目指すのは継続的な関係性であり、目標の実現には、今後の継続的な問題意識と努力が求められるであろう。

イベント・企画の実施内容については、昨年度行った各イベント・企画を継続することをベースとして重点的に力を割く一方で、新たなアイデアに関しても積極的に採用・実施していく二本柱の体制を取った。

その結果、恒例化しているイベント・企画については、大まかな運営形態が出来上がり、新規に実施した企画・イベントについては、その効果と課題が浮き彫りとなるなど来年以降を模索していく上での材料を多く見つけることが出来た。

昨年度までの検討事項として、実行委員会としてのノウハウの共有・引継ぎの円滑化が挙げられていたことを考慮し、今後、このようにして得られた財産を、実行委員会のメンバーでしっかりと共有・引継ぎしていけるような体制を整えることを心掛けて行きたい。

「イルミネーション湘南台」は、湘南台による湘南台のためのイベントである。そのことを目標としてしっかりと捉え、実行に移すことができたという点において、私は今年度の活動を評価したい。

2. 2002 年度概要

2-1. 企画名

『イルミネーション湘南台 2002』

2-2. コンセプト

『まちのひかりと笑顔で、湘南台にいろどりを』

2-3. 目的

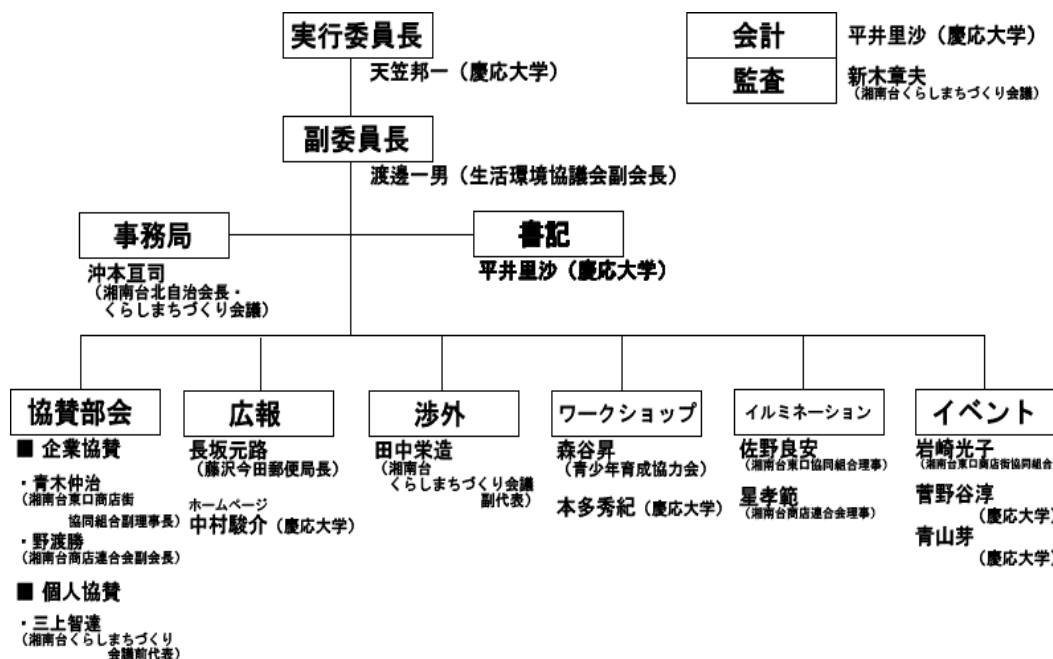
『市民参加型の継続的なイベントを行うことで、一人でも多くの人に湘南台に愛着をもってもらおう。』

2-4. 実施期間

2002 年 12 月 1 日 ~ 2003 年 1 月 15 日

(慶應秋祭における展示ブースでの PR : 2002 年 11 月 17~18 日)

2-5. 体制(組織図)



2-6. 実施イベント

イベント名	実施日程	実施場所	概要	当日の様子
イルミネーション 湘南台@秋祭	11/16, 17 10時～17時	慶應義塾 大学 SFC	イルミネーションを地域の 大学に広めるため、SFCの学 園祭・秋祭にて、ブースを 出し、広報を行なう。	参加スタッフ：10名 学生だけでなく、祭に来ていた地 域の方にも多く来て頂き、賑わっ た。ポストカードも78枚に達し、 以後のイベント参考になった。
点灯式	12/01 17時～18時	湘南台駅 地下広場	イルミネーション湘南台の 開会を告げるとともに大通 りのイルミネーションを点 灯する。	参加スタッフ：30名 雨天のため、急遽場所が、駅地下 広場に変更になったが、それでも 100名以上の観客に見守られ、イ ベントを執り行うことが出来た
ワークショップ 協力： 青少年育成協定会 湘南台高校 湘南台中学校	12/01 13時～16時	湘南台駅 地下広場	子ども達を主体に、クリス マスツリーの飾りを皆で作 り、駅地下広場に設置した ツリーに飾り付けをしても らう。	参加スタッフ：30名 雨天で参加者の出足が心配され たが、1歳から12歳までの幅広 い層の子供たち110名が参加し、 賑やかな雰囲気の中行われた。
市営地下鉄主催に 賛助出演 市営地下鉄主催クリ スマコンサート	12/07 13時～15時	湘南台駅 地下広場	市営地下鉄が主催したコン サートに出演することによ り、お互いの協力体制の基 礎とする	参加スタッフ：15名 ギター・三味線・コーラスと異な る味わいを楽しめた。
クリスマス ・ストリート	12/15 14時～17時	湘南台駅 東西ロー タリー周辺	湘南台駅周辺のストリート で各種パフォーマンスを行 ってもらうことで、街に活 気と雰囲気をもたらす。	参加スタッフ：20名 時と場所によりばらつきはあっ たが、常に観客があり青空の下さ わやかにイベントは行われた。イ ベントに出演した子供の親など が見学に来るほほえましい光景 も見られた。
クリスマス ・コンサート 協力： 慶應義塾大学授業 生活者の社会参加	02, 12/20 18時半 ～21時	湘南台駅 地下広場	市民や学生がクリスマスソ ングを中心とした音楽を演 奏し音楽によって、地下広 場と湘南台の街を彩る	参加スタッフ：25名 最高時には、250名程度の観客 が、寒い中足を止め、しっかりと した大人向けの演奏に聞き入っ た。イルミネーションコンテスト の表彰もこの場で行われた。

実施企画

企画名	企画概要	企画実施状況・結果
イルミネーション 協力： 藤沢市（地下電力） まちづくり協会（管理） 藤沢工業高校（柵製作） 湘南台高校（イラスト）	湘南台駅前東西大通りの街路樹にイルミネーションを灯す。実施期間：02年12月1日～03年1月14日 また、駅地下広場（地下自由通路）・3駅改札内にツリーを設置する。実施期間：12月1日～12月25日	一本の木に400球、約16000球のイルミネーションライトが湘南台の街を彩った。また、駅地下広場のツリーには約1000球のイルミネーションが施された。安全管理用の柵は、藤沢工業高校が製作柵の絵は湘南台高校製作。
イルミ クーポン 協力： 湘南台地区店舗有志	個人協賛者に対して、オリジナルグッズを配布。それを見せれば協力店舗にてお得なサービスが受けられる。実施期間：12月15日～12月31日	クーポン協力店舗は全43店舗に及んだ。一方、クーポンの配布数は、401枚。利用回数の総計は51回、全体の利用率は12.7%となった。
イルミネーション コンテスト 協力： 湘南台東口商店街（協） 湘南台商店連合会	湘南台でイルミネーションを飾る住居及び店舗から、有志を募り、コンテストを実施する。審査は、湘南台の住民・実行委員会によって行なわれる。応募締め切り：12月13日、表彰式：12月20日コンサート時	参加者数は、店舗の部25件（東17件、西8件）、住居の部18件（東10件、西8件）となった。市民センターやイベント会場で行った住民投票および委員会の審査結果で、店舗6件、住居6件に賞が与えられ、記念品が贈られた。表彰は、クリスマス・コンサート時に行われた。
ポストカプセル 2002	各イベント会場・及びチラシで希望者を募り、一年後に届くポストカードを書いていただく。01年度も実施し、02年度では、その分のポストカードを、参加者の方にお届けした。	各イベント時や、協力店舗に設置した常設ポストで、ポストカードを受け付けた。その結果、計295枚のポストカードが集まった。また、昨年度集め、今年発送した分は約100枚にのぼった。
イルミケーション 協力： 湘南台市民センター	各イベント会場や、湘南台の主要店舗にメッセージボードを設置し、そこに自由コメントや湘南台について思うことを、貼り付けていく。コミュニケーションの促進を狙った企画である。	イベント時と市民センターのポスター展示スペースに設置された。広報が余り出来なかった企画であるが、それでも10数件のメッセージが寄せられた。
ポスター 協力： 青木/湘南台/広田幼稚園 湘南台/六会小学校 湘南台中学校/高校 湘南台市民センター 青少年育成協力会	湘南台の各幼稚園/小・中学校に協力していただき、子供たちが「イルミネーション・クリスマス・湘南台」をテーマにポスター描いた。出来上がったポスターは、12月10～27日まで市民センターギャラリーに展示。一部が慶応秋祭にて展示された。	協力していただいた、各幼稚園、小学校、中学校から、400枚を超える作品が寄せられ市民センターのギャラリーに飾られた。また、湘南台高校の生徒の大型の作品も同じ場所に飾られ、訪れた人の目を楽しませた。慶応大学秋祭時には約50枚の作品が、ブースに飾られた。

2-7. 広報掲載

イベント実施期間中に、取り上げられた各種マスコミ媒体を以下に示す。(50音順)

- ・ ASA 湘南台(朝日新聞) めざましタイムズ: 2002年11月号、11月特集号12月号
- ・ 神奈川新聞: 2002年12月4日、12月8日
- ・ 広報ふじさわ: 2002年12月25日号
- ・ J-COM(ケーブルテレビ)ウィークリー藤沢: 12月6日~8日
- ・ 湘南朝日: 2002年10月7日、11月18日
- ・ ちきゅうぎ(湘南台市民センター発行): 10月10日号、12月10日号
- ・ ふれあい朝日: 2002年12月18日
- ・ リベルタ【藤沢版】: 2002年11月14日号
- ・ レディオ湘南: 電話による点灯式の生中継 12月1日
- ・ レディオ湘南: 電話インタビュー 12月3日

2-8. 後援

藤沢市・藤沢市教育委員会

2-9. 協賛

地元住民・地元企業

湘南台東口商店街協同組合・湘南台商店連合会

2-10. 協力団体(50音順)

青木幼稚園

ASA 湘南台店

小田急電鉄

神奈川県立湘南台高等学校

神奈川県立藤沢工業高等学校

慶應大学授業「生活者の社会参加」

相模鉄道湘南台駅

自治会連合会

湘南台くらし・まちづくり会議

湘南台青少年育成協力会

湘南台幼稚園

藤沢市まちづくり協会

藤沢市立湘南台小学校

藤沢市立湘南台中学校

藤沢市立六会小学校

広田幼稚園

横浜市営地下鉄

2-11. 協賛状況

- ・ 個人協賛・・・401名 (昨年度実績 269名: 昨年比 132名・49%増)
- ・ 企業協賛・・・98社 (昨年度実績 75社: 昨年比 23社・31%増)

2 - 12. 実行委員会名簿 (50音順)

青木仲治	湘南台東口商店街協同組合 副理事長
天笠邦一	慶應義塾大学 総合政策学部 3年
青山 芽	慶應義塾大学
新木章夫	湘南台くらし・まちづくり会議
石坂広子	湘南台青少年育成協力会
伊藤豊	湘南台くらし・まちづくり会議、湘南台老人会
稲村平八	湘南台商店連合会 理事
岩崎光子	湘南台東口商店街協同組合
岩崎盟三	湘南台東口商店街協同組合 理事
宇都宮クララ	慶應義塾大学政策メディア研究科 1年
沖本亘司	自治会連合会, 湘南台くらし・まちづくり会議, 湘南台北自治会長
加藤新平	湘南台東口商店街協同組合 理事
北村繁	湘南台東口商店街協同組合 理事
黒江宣光	湘南台東口商店街協同組合 理事
木佐貫茂	湘南台青少年育成協力会
小泉久男	湘南台青少年育成協力会
小林庵	湘南台東口商店街協同組合 理事長
佐野良安	湘南台東口商店街協同組合 理事
島添充子	慶應義塾大学
菅野谷純	慶應義塾大学
鈴木重徳	湘南台市民センター長
田中正男	元湘南台市民センター長
田中栄造	湘南台くらし・まちづくり会議 副代表
谷口加代子	地域協力者会議
中川伸也	慶應義塾大学 生活者の社会参加グループ
中村俊介	慶應義塾大学
西村泰子	慶應義塾大学
長坂元路	藤沢今田郵便局長
野崎家弘	湘南台商店連合会 副会長
野渡勝	湘南台商店連合会 副会長
橋本秋夫	湘南台くらし・まちづくり会議
長谷川恵子	湘南台青少年育成協力会
平井里沙	慶應義塾大学 総合政策学部 1年
星孝範	湘南台商店連合会 理事
本多秀紀	慶應義塾大学 総合政策学部 2年
三上智達	湘南台くらし・まちづくり会議 前代表
森谷昇	湘南台青少年育成協力会
茂呂勝三	円行共同住宅自治会長
八代貴美子	湘南台青少年育成協力会
矢部保成	湘南台商店連合会 会長
湯沢隆夫	湘南台東口商店街協同組合 理事
吉永早織	慶應義塾大学
渡辺一男	湘南台中学校 元 PTA 会長、生活環境協議会 副会長

13. 終わりに - お世話になった皆様へ -

ここまで、報告をしてきた『イルミネーション湘南台 2002』事業だが、その実施・運営が今回のような形で特に大きな問題も無く行われ、しかも成果として地域マスコミなどで反響を呼び、また沢山の地域の方々に参加していただくことが出来たのは、湘南台地域関係者各位の皆様のご理解とご協力による部分が大きく、その存在抜きに、『イルミネーション湘南台 2002』を語ることは出来ないと考える。

そのお世話になった湘南台の皆様への「実行委員長からの」感謝の言葉を、報告書の閉めの言葉に代えたい。

イルミネーション湘南台事業への、様々な面でのご協力とご理解、感謝の念に絶えません。本当に有難うございました。湘南台の皆様あっての、イルミネーション湘南台事業です。来年度以降も、一層のご理解とご協力、よろしく願いいたします。

イルミネーション湘南台 2002 実行委員長
慶應義塾大学総合政策学部 3 年 天笠邦一